

認知症とともに生きる

認知症になっても住み慣れた地域で暮らし続けるために

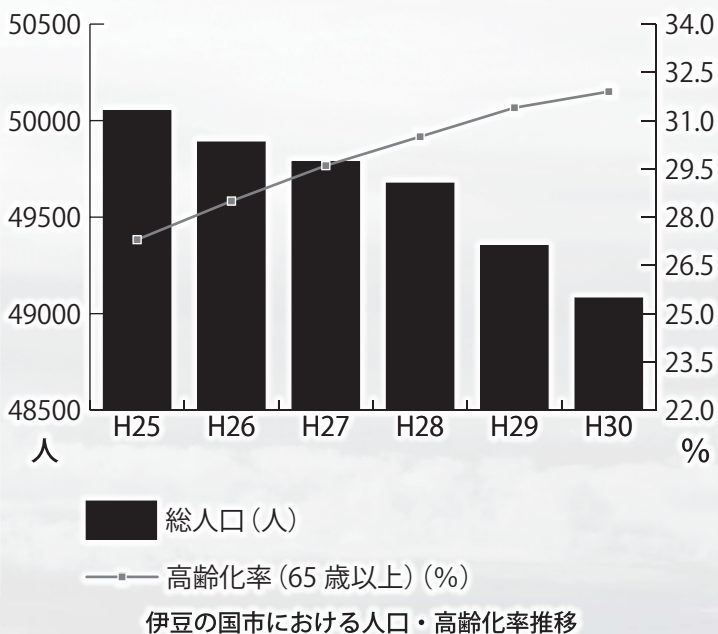
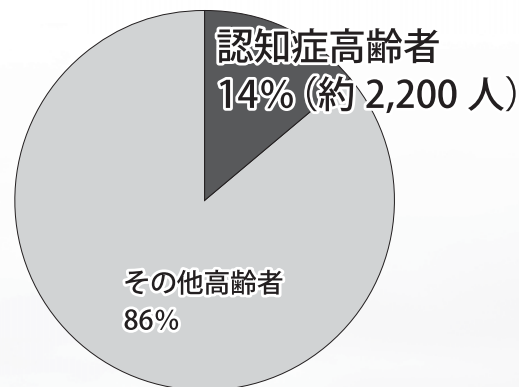
◆伊豆の国市の現状

認知症は、誰もがかかる可能性のある脳の病気です。国の推計では、2025年には認知症患者は全国で700万人に達し、65歳以上の5人に1人を占めるといわれています。

伊豆の国市には、認知症高齢者(※日常生活自立度Ⅱ以上)が約2,200人います。これは、65歳以上の高齢者のうち、約14%を占める人数です。

なお、伊豆の国市の65歳以上人口は全体の約32%を占めており、概算すると、市民のおよそ5%が認知症高齢者であることが推測されます。

※日常生活自立度Ⅱ以上とは、日常生活に支障をきたすような症状や行動、意思疎通の困難さが見られても、誰かが注意していれば自立できる、または介護を要する状態



認知症になっても住み慣れた地域で暮らしていくためには、地域の皆さんの力が必要です。

◆認知症の人を支援するサービス

○はいかい高齢者等SOS ネットワーク事前登録サービス

「どこかへ行ってしまうかわないか心配。」大切な家族が知らない間に出かけてしまい、家へ帰れなくなったとき、すばやい捜索で、遠くへ行く前の発見に繋がります。はいかいは心配がある場合に、事前に名前や住所・連絡先などを登録し、1分でも早く捜索を始めるためのサービスです。※登録者数は17人(平成30年6月現在)

○伊豆の国市メール配信サービス

「こちらは広報いずのくにです」でおなじみ。同報無線に連動し、放送された行方不明者のお知らせを、携帯電話などへメールが届きます。

【登録方法】

izunokuni-entry@tokyoanpi.sbs-infosys.comに空メールを送信し、案内に沿って登録します。



登録用メールアドレス QRコード

◆認知症の人やその家族を支えるために地域でできること

認知症の人とその家族は、大きな不安を抱えながら生活しているため、認知症について正しく理解し、地域で温かく見守ることが大切です。

認知症の人とその家族が困っていたら、「最近どう?」「手伝えることはある?」など声をかけてみましょう。

○認知症サポーター養成講座

認知症の正しい知識や接し方を理解し、地域で認知症の方を見守る方法を学びます。少人数のグループから地域の集まり、職場内の研修などへも出向きます。

受講者には、認知症サポーターの証「オレンジリング」をわたします。市では、現在9,697人のサポーターが活躍しています。(平成30年6月現在)



大仁小学校でも開講

○認知症カフェ

誰もが気軽に集い、ゆつくり会話を楽しんだり、過ごしたりする「認知症カフェ」を、市内6カ所で開催しています。介護の仕方の相談、ミニ講座、お茶会、歌や楽器の生演奏、脳トレや体操などを行っています。



保健福祉・こども・子育て相談センター
0558(76)8010

○市民後見人養成研修

市では、判断能力が十分でない人の生活を市民目線で支援し、ボランティアで成年後見活動を行う「市民後見人」の養成研修を、三島市、伊豆市、函南町と共同で開催します。

◆事前説明会(研修受講者はどちらかに要参加)

- ①三島会場▼とき/8月24日(金)10時~11時▼ところ/三島市社会福祉会館(三島市南本町)
- ②伊豆の国市会場▼とき/8月27日(月)14時~15時▼ところ/葦山福祉・保健センター

【共通】▼定員/100人▼料金/無料

◆市民後見人養成研修

- とき/10月16日(火)~2月5日(火)の毎週火曜日
- 対象/次のいずれにも該当する人
- ①成年後見制度、高齢者、障がい者への福祉活動に理解と熱意があること
- ②概ね30歳~70歳の人で、心身ともに健康であること
- ③伊豆の国市、三島市、伊豆市、函南町のいずれかに住所を有していること
- ④成年後見人の養成研修を実施する団体の資格(弁護士、司法書士、社会福祉士など)を有していないこと
- ⑤原則として、すべての講座を受講することが可能で、市民後見人として活動できる見込みがあること
- ⑥報酬を得ることを目的としないこと

申し込み期限/8月20日(月)

伊豆の国市社会福祉協議会(くらし相談窓口)

0558(76)8012

●地域の「見守りネットワーク」拡大中!

はいかい者探索事業

◆スマホでアクセス!どこシル伝言板

市では、認知症の人や家族が安心して暮らせるまちづくりを目指して、行方不明時の早期発見・事故防止のため、「見守りシール」による「はいかい者探索事業」をはじめました。

QRコードを読み取り
スマホでアクセス!

家族が発見の連絡を
自動メールで受信

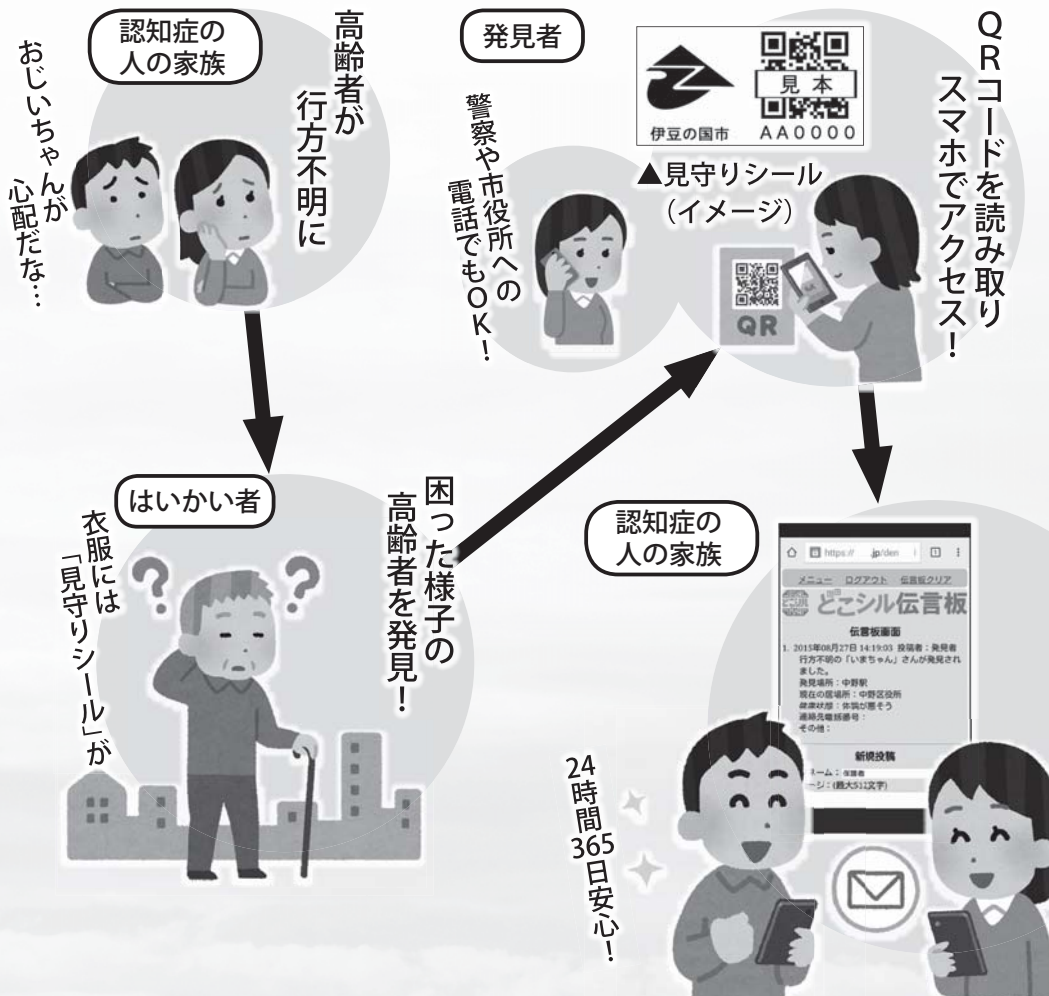
24時間365日安心!

○見守りシールを 利用するには?

本人または家族が、長寿福祉課窓口で申請する必要があります。

見守りシールを利用することで、はいかい者などで行方不明となったときに早期の発見・対応ができるようになります。ぜひご利用ください。

配布物/QRコード付き見守りシール40枚(アイロンで簡単貼り付け)
対象/おおよね65歳以上の認知症高齢者または在宅の若年性認知症
で、はいかい者のおそれのある人
必要な物/申請者の印鑑、発見通知を受けるメールアドレス(3件まで・迎えに行くことが可能な人)
負担金/1セット380円



○地域の皆さんへ
衣服や携行品に「見守りシール」を貼った人が一人で歩いていたら、ゆっくりと「どうしましたか。お手伝いすることはありませんか」と声をかけてください。そして、可能であればスマートフォンなどで「見守りシール」を読み取り、発見情報を入力してご家族へ連絡してください。読み取り方法がわからない場合は、市役所や警察に連絡してください。

高齢者が
行方不明に
認知症の
人の家族
おじいちゃんが
心配だな...

発見者
警察や市役所への
電話でもOK!

伊豆の国市
見守りシール
(イメージ)
QR

家族が発見の連絡を
自動メールで受信

24時間365日安心!

○見守りシールを 利用するには?

本人または家族が、長寿福祉課窓口で申請する必要があります。

見守りシールを利用することで、はいかい者などで行方不明となったときに早期の発見・対応ができるようになります。ぜひご利用ください。

配布物/QRコード付き見守りシール40枚(アイロンで簡単貼り付け)
対象/おおよね65歳以上の認知症高齢者または在宅の若年性認知症
で、はいかい者のおそれのある人
必要な物/申請者の印鑑、発見通知を受けるメールアドレス(3件まで・迎えに行くことが可能な人)
負担金/1セット380円

①シートは必要事項を記入して
冷蔵庫の中に!
②マグネットは冷蔵庫の外に!
③シールは玄関に!
たったこれだけで
緊急時も安心!!

◆救急医療情報キット

ご利用ください!

市では、「安心地域支え合い体制づくり事業」の一環として、「一人暮らしなどの世帯に「救急医療情報キット」を配布しています。これは、かかりつけ医、治療中の病気、服用中の薬、緊急連絡先などの緊急時に必要な情報を「救急医療情報シート」に記入し、保管しておくことで、緊急時の救助活動に役立つことを目的としています。

報告します!!

◆「伊豆の国市安全安心見守りネットワーク事業」 展開中です!

高齢者、障がい者、子どもなど、見守りを必要とする人が、住み慣れた地域でいつまでも安心して暮らすことができるよう、市では、事業者と連携して、「伊豆の国市安全安心見守りネットワーク事業」を展開しています。市では、(株)セブン・イレブン・ジャパンに続き、東京電力パワーグリッド(株)伊豆支社とも、この事業に関する協定を締結しました。

市内の新聞販売店、郵便局、セブン・イレブン店など、市内で活動する事業者による見守りの「輪(ネットワーク)」が広がっています。

電気使用量の検針や電線の工事などの業務活動に合わせ、市民の何らかの異変に気付いたときは、市へ情報を提供することにより早期の発見・適切な支援につながります。小野市長は「超高齢社会への対応は、今まさに直面している課題であり、住民が安心して暮らせる地域づくりは大変ありがたい」と感謝の言葉を述べました。



(株)セブン・イレブン・ジャパンとの協定

皆さんも、「見守りネットワーク」に

ご協力をお願いします!